

宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 1



宮小児童がチェーンソーアート実演見学！

石原林道協議会主催の子ども自然体験事業
世界チャンピオン太田貴之さんの作品です

○宮崎学区地域づくりの会とは

「宮崎学区の地域づくりを考える会」（通称「宮崎会」）は、宮崎学区内における「夢と希望の持てる地域づくり」を目的とした団体です。平成25年12月2日に設立したまちづくり協議会です。構成員は、財産区委員・総代会・社会教育委員会・福祉委員会・民生委員・保護司・診療所長・駐在官・小学校長・PTA会長など地域の主だった団体の方にお集まりいただいています。宮崎のまちづくりについてプロジェクトチームをつくり、活動をする団体です。現在5つの委員会を設置して活動をしています。この情報紙は、私たちの活動を知っていただくために作成しました。皆さんと共に考え、行動を始め、大きな輪をつくっていきましょう。

【分科会1】サイクリング部会

サイクリングの郷づくり実行委員会（委員長 山口和雄さん）

○宮崎をサイクリングの郷に

「宮崎の目玉として、魅力ある活動が欲しい」「宮崎の山林を活用したイベントができないか」「土曜日曜などににぎわうサイクリングに関連させることはできないか」こんな願いを受けて、昨年6月宮崎会定例会において、プロジェクトチームを発足することになりました。名付けて「宮崎サイクリングの郷づくり実行委員会」です。そのめざす方向を次のように決めました。

「将来宮崎学区を『交流の町』として多くの住民でにぎわうようになることを目標とし、宮崎学区を『サイクリングの郷』として活性化することをめざす。」

「交流の町」づくりでは、宮崎サイクリングの郷づくりを中心にすえて、くらがり溪谷が活性化すること、宮崎の歴史・文化が広く紹介・活用されること、宮崎の農業・林業が盛んになること、これら数点を通して、多くの人々が交流し、定住する人が増えることを願い委員会で検討しています。

第1回の委員会は、6月20日（水）に行われ、さっそく2種類のアンケートを実施しました。宮崎地区に訪れるサイクリスト対象では38名分を回収、宮崎会の会員対象では31名分の回答を得ることができました。

7月2日（月）には、岡崎市サイクリング協会の会長さん、岡崎市体育協会の主任さんなどにも宮崎地区で利用できるサイクリング大会のコースを視察していただくことができました。

9月9日（月）には、委員会のメンバーで現在行われている岡崎市サイクリング大会を視察しました。

10月14日（日）には実際にサイクリングに訪れる人の数を調査しました。このほか、宮崎学区を訪れるサイクリング愛好者に向けて年度内に「宮崎サイクリングの郷」の看板を設置する予定です。

※地権者の了解を頂き、宮崎橋付近とくらがり溪谷入口に設置させていただきます。



2018 岡崎市サイクリング大会を見学

ようこそ！
サイクリングの郷宮崎へ

マナー・ルールを守って楽しく

みんなが安心できる走行
安全速度 一列走行

宮崎サイクリングの郷づくり実行委員会

【分科会2】くらがり活性化部会

くらがり活性化実行委員会（委員長 加山 茂さん）

〇くらがり溪谷癒しのプロジェクト



くらがり溪谷は、紅葉の季節が終わり静かになりました。先日のくらがり感謝祭には駐車場が満車となりお待ちいただく状況でした。今後多くの方にご来場いただけるよう頑張ります。初めての情報誌ですので、事業の説明をします。溪谷の中に岡崎市のバーベキュー場（屋根付き 15、屋根なし 15）と宿泊施設 4 棟があります。これらの指定管理事業と山荘において虹鱒つかみと虹鱒釣りを営業しています。現在碧水会は、正規 2 名、パート従業員 5 名、学区選出役員 9 名で管理運営をしています。身近な観光地ですのでお気軽に、地元の皆さんもシーズンにはお越しください。地元の顔見知りのご案内します。

【分科会3】農林業活性化部会

JA宮崎支店活用検討委員会（委員長 杉浦 傑さん）

〇JA宮崎支店の閉鎖に向けた対応検討

平成 30 年 5 月、JA宮崎支店の閉店の情報は、宮崎地域にとり大きな衝撃となりました。JAあいち三河さんの説明会を経て意見を聞いていただき、しばらくの間延長をしていただくこととなりました。将来閉鎖に向けて地元としてどのような対策ができるのかを検討していきます。定期的な軽トラ産直市場を設けてはどうか等のアイデアを頂いています。今後委員会で御意見を踏まえて宮崎支店の活用を多面的に研究していきたいと思ひます。

【分科会4】歴史文化部会

歴史文化探訪委員会（委員長 荻野昌彦さん）

〇宮崎の歴史文化を地域活性化に繋げる

外の方からこの地区は歴史の宝庫だと良く聞きます。しかし、急激な人口減少は文化の継承と共に歴史そのものの伝承を難しくして行くように思われます。古い物事を知る人が減り、それを聞いて伝えて行く人がいなくなるというのは地域の大きな文化財産の喪失です。

例えば、巴山（719m）は豊川・乙川・矢作川の3分水嶺であることから「三川（＝三河）」の語源であるとも言われていますが、地元でも知らない人は案外多いものです。古事記にも記されている「三川」の由来がこんなに身近にあるとしたら凄い事だと思いませんか。

まずは集落の神社等の歴史を紐解き、伝統行事について見識を新たにするとところから、この地区をより魅力的にしていきたいと考えています。現地調査と座学で一緒に勉強できる歴史文化に興味のある多くの方の参加を望みます。

【分科会5】教育環境部会

子どもの居場所づくり委員会（委員長 鈴木久義さん）

〇児童受け入れ態勢の検討を

宮崎小学校の全校児童は 34 名、宮崎保育園 7 名の現状を受け止め、学区の皆さんと対策を立てなければなりません。その中で急務なのが子どもの居場所づくりではないでしょうか。共働きの家庭が増える中で、安心して子供を預かってくれる「放課後教室の開設」に向けた周辺整備が必要です。12 月 3 日宮崎会の席上で、子ども育成課から宮崎学区では、平成 31 年 4 月から宮崎保育園を実施場所として放課後こども教室の開設を予定していると話がありました。それを踏まえて委員会としては、こども育成課・社会福祉協議会と連携して周辺整備を進めていきたいと思ひます。まず、急ぐのは指導員の確保ですのでご協力をお願いします。

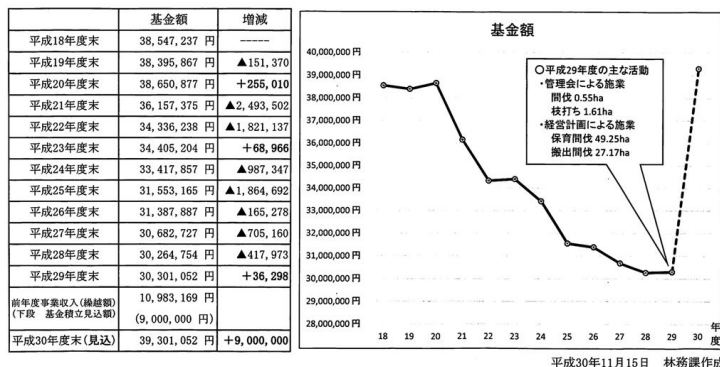
各種団体報告

宮崎財産区の活動報告（会長 清水孝夫さん）

〇宮崎財産区の基金増加

平成 29 年度管理会による施業として間伐枝打ちを実施。経営計画による施業として保育間伐と搬出間伐を実施したところ基金の増額を示すことができました。

岡崎市宮崎財産区 基金額 推移



お知らせ

やまびこの会活動案内（会長 山本一郎さん）

〇森のようちえんを紹介しす

このちらしは、宮崎保育園、宮崎小学校にお願いし、市内全園児、小学校児童の実家庭に配布しています。東河原、雨山、大代の三町には、毎回案内を回覧し、地域にゆかりのある子どもたちと親に活動を紹介しています。基本的には HP をみて参加してくれる人が多いです。今、やまびこの会が、みつわ広場の有効活用についていろいろと働きかけている活動の一環です。



「宮崎まちづくり活動団体情報紙」

編集・発行：宮崎学区の地域づくりを考える会

発行責任者：会長 梅村順一 電話：0564-83-2034